

ご購入有り難うございます。当キットはホビージャパン1985年12月号に掲載された横山宏氏によるNewFireBallを取材して得た資料などを利用して再現していますが、出来れば同号を手に入れて参考にして製作して下さい。

- このキットは別途日東の1/20Prowlerが必要です。
 - レーザーアーム用に別途パイプスプリングが必要です。Prowlerキットの物では短すぎるためです。Prowlerキット同梱のレーザーアーム用パイプスプリングと同じ径の太さのパイプスプリングでより長いものを御用意ください。
 - デカールは含まれていません。
 - 無可動です。
- この説明書でパーツ番号が「Re」なものはレジンパーツです。その他のパーツはProwlerのパーツになります。
- レジンパーツとプラスチックパーツは組み合わせがシビアです。よく仮組してから組んでください。

1

最初にProwler設計図を参考に各所を製作します。

A).最初に設計図-図説1を参考に右腕を組みます。ただし、同梱のラクーンのパーツは使用しないで下さい。また必要なのは前腕部のa28、c12.13のみで、他に指定されているパーツは組立不要です。

B).次に図説4番を参考に脚部ならびにハッチを製作します。このあと脚部のプースターユニットパーツとのすり合せが必要になるため、この時点では脚部を固定にしないで下さい。

2

裏にエポキシパテ等を盛って、この三日月部分を削り取る。

レジンを組み込むために削り取る

Re

Re

Lは左、Rは右肩です。下のレジンパーツのモールドラインに合わせて接着して下さい。

パテを盛ってモールドを消す

左：左側a1のパーツも同様に処理します。点検ハッチb1のパーツの合わせ目はオリジナルでは消されていないようです。

3

Prowler設計図-図説5を参考にボディと脚部を製作して下さい。ただし、腕部に関する記述は無視してください。

5

Prowler設計図-図説7を参考に各所を製作してください。また、ノズルのd19、d20のパーツには図を参考にパイプを取り付けて下さい。

付属のコードを接続。

こちらはキット指定のWIREを接続。

例) b20 1mmの穴を空ける

4

Prowler設計図-図説6を参考に各所を製作して下さい。ただし、ドッラーレーダーのパーツe1は使用せず、FIREBALLランナーのd13に置き換えてください。また、ここで指定してある肩アーマーはレジンの別パーツを用意しているの不要ですので使わないで下さい。

6

ボディ左右に付ける増加タンクは型抜きの関係で一部一体成形しています。自信のある方は、右の図示した部分をカッターなどで削り取ってもらうと正しい形になります。

この部分を削り取る。

このようにする。

8

内側にR.Lの指定があります。こちらはRを使います。

タンク接続部(d9)挟むようにしてc16に接着します。できれば真鍮線などで作り直したほうがいいでしょう。

ビニールコード。適当な長さにカット

行程1で製作した右腕。

7

内側にR.Lの指定があります。こちらはLを使います。前に向き過ぎないように注意して下さい。

タンク接続部(d9)挟むようにしてc16に接着します。できれば真鍮線などで作り直したほうがいいでしょう。

ここにスプリングパイプを取り付けるための穴を開ける。

スプリングパイプ レーザーアーム用に別途パイプスプリングが必要です。Prowlerキット同梱のレーザーアーム用パイプスプリングと同じ径の太さのパイプスプリングでより長いものを御用意ください。

8

内側にR.Lの指定があります。こちらはRを使います。

タンク接続部(d9)挟むようにしてc16に接着します。できれば真鍮線などで作り直したほうがいいでしょう。

ビニールコード。適当な長さにカット

行程1で製作した右腕。

9

Prowler設計図-図説9を参考に各所を製作して下さい。ただし①行程で指定されているe11、e10、e9で構成されているレドームは取り付けしないで下さい。また、e2のパーツについては、Prowlerにはついていないはずの行程6で取り付けしたc6のパーツが下にありますがそのままその上につけるようにして下さい。補足になりますが、ここで指定されているWIREはNewFireballのオリジナルモデルでは使われていないようです。